

世界的インフレと 日本経済の難題

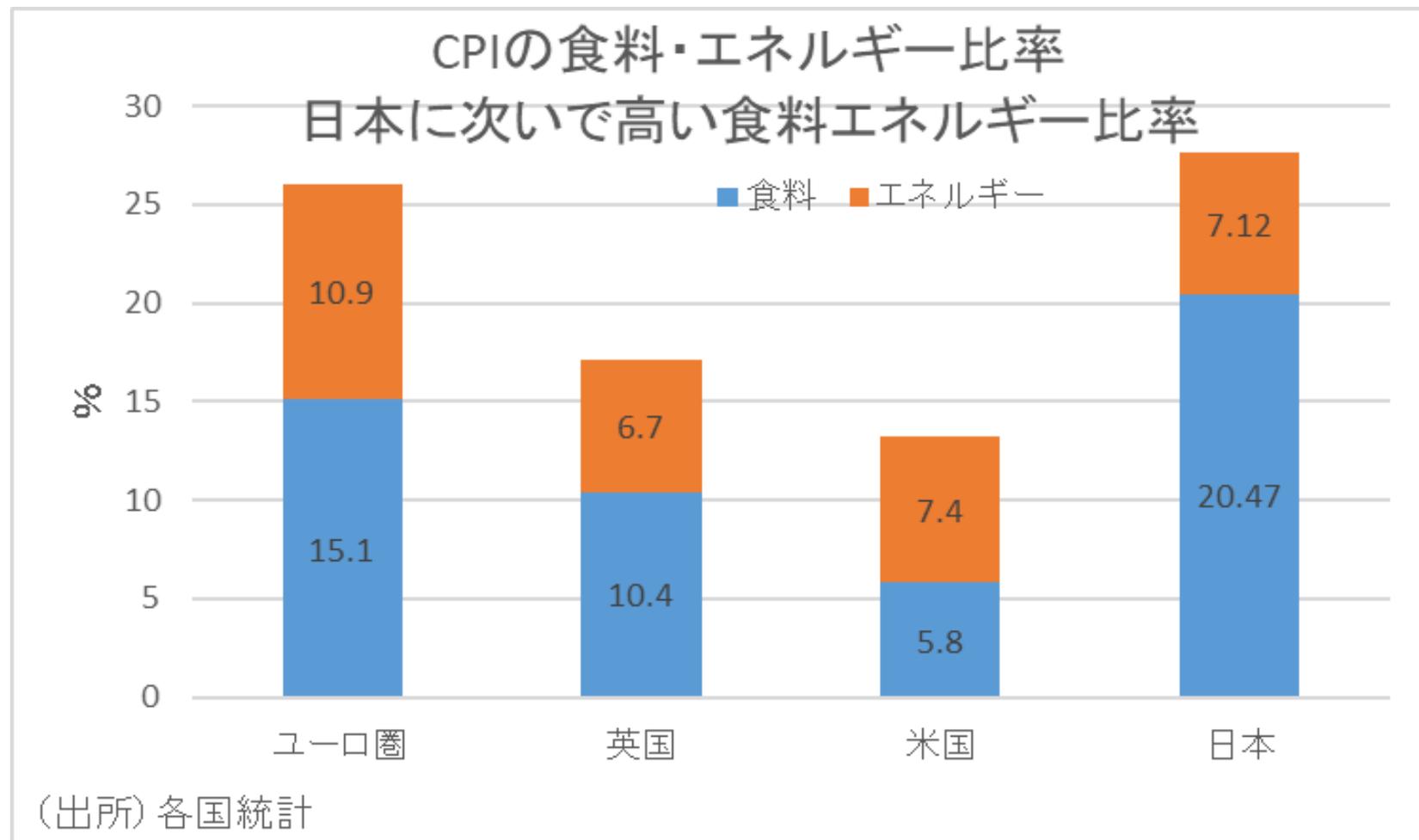
(株)第一生命経済研究所
経済調査部 首席エコノミスト
永濱 利廣

1. ウクライナ危機で一次産品不足

(1) エネルギー・食料自給率低い国ほどダメージ

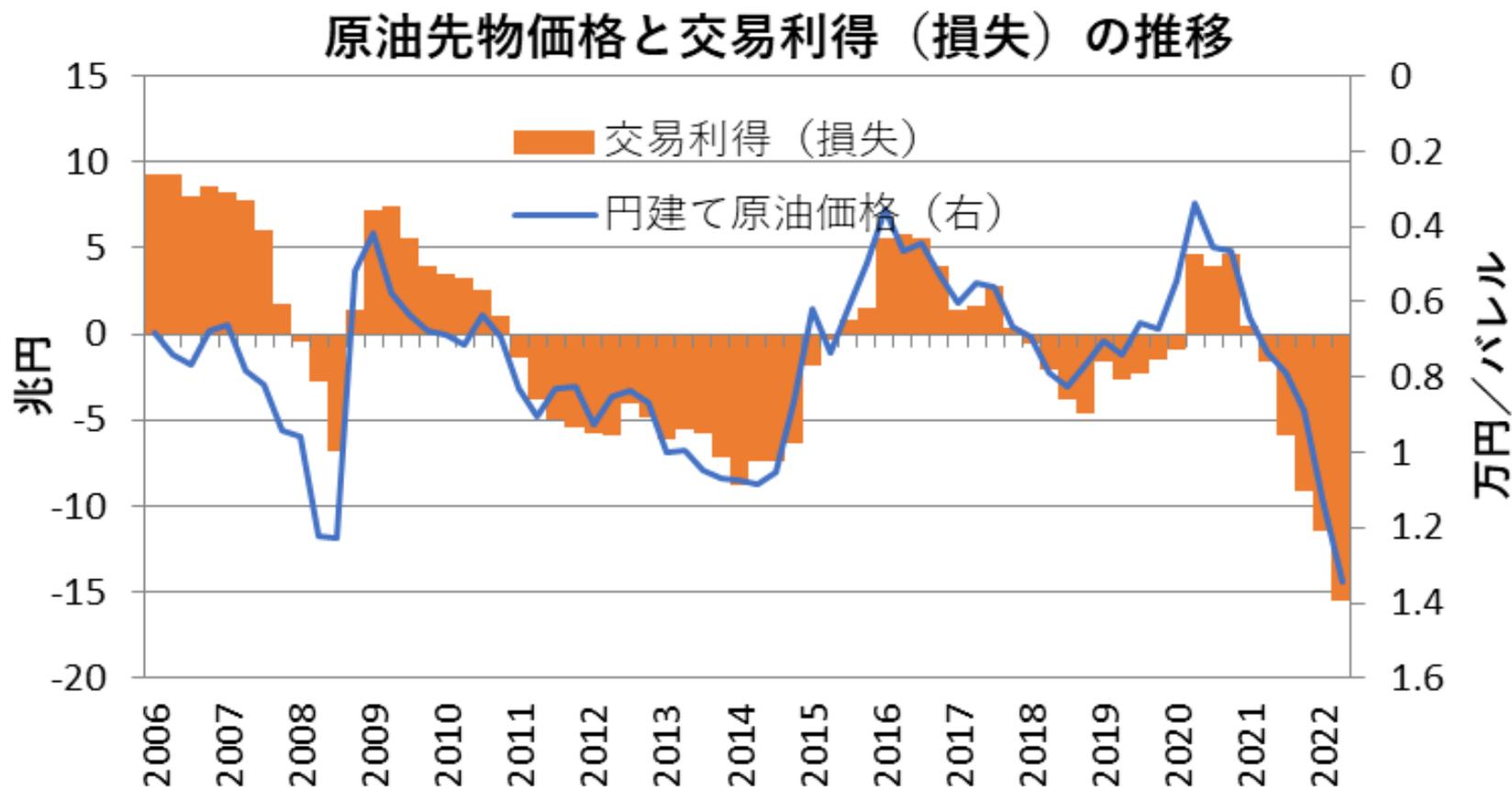
主要化石燃料・穀物の輸出シェア								割合：%	
順位	原油		天然ガス		小麦		とうもろこし		
1	サウジ	16.6	ロシア	19.1	ロシア	17.7	米国		26.1
2	ロシア	12.3	米国	11.1	米国	14.1	アルゼンチ		16.5
3	カナダ	9.0	カタール	10.3	カナダ	14.1	ブラジル		15.9
4	イラク	8.5	ノルウェー	8.9	フランス	10.1	ウクライナ		13.3
5	米国	7.4	豪州	8.5	ウクライナ	8.0	フランス		4.7
(出所) 各種統計									

(2) 実は最も影響を受けやすいのは日本



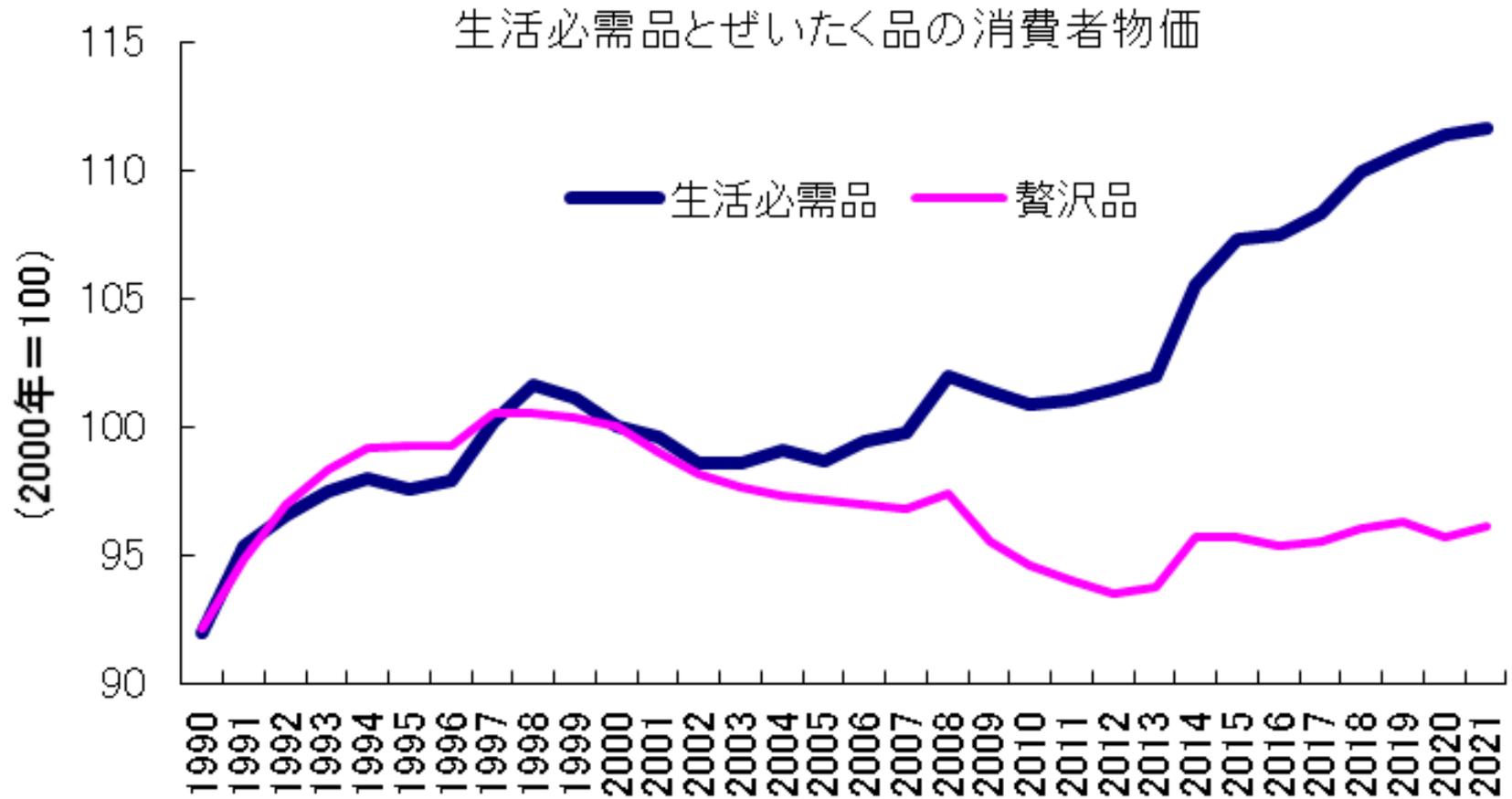
2. 日本で懸念される所得の海外流出

(1) 21年▲4兆円から22年▲15兆円流出の可能性



(出所) 日経新聞、日銀、内閣府資料を基に作成

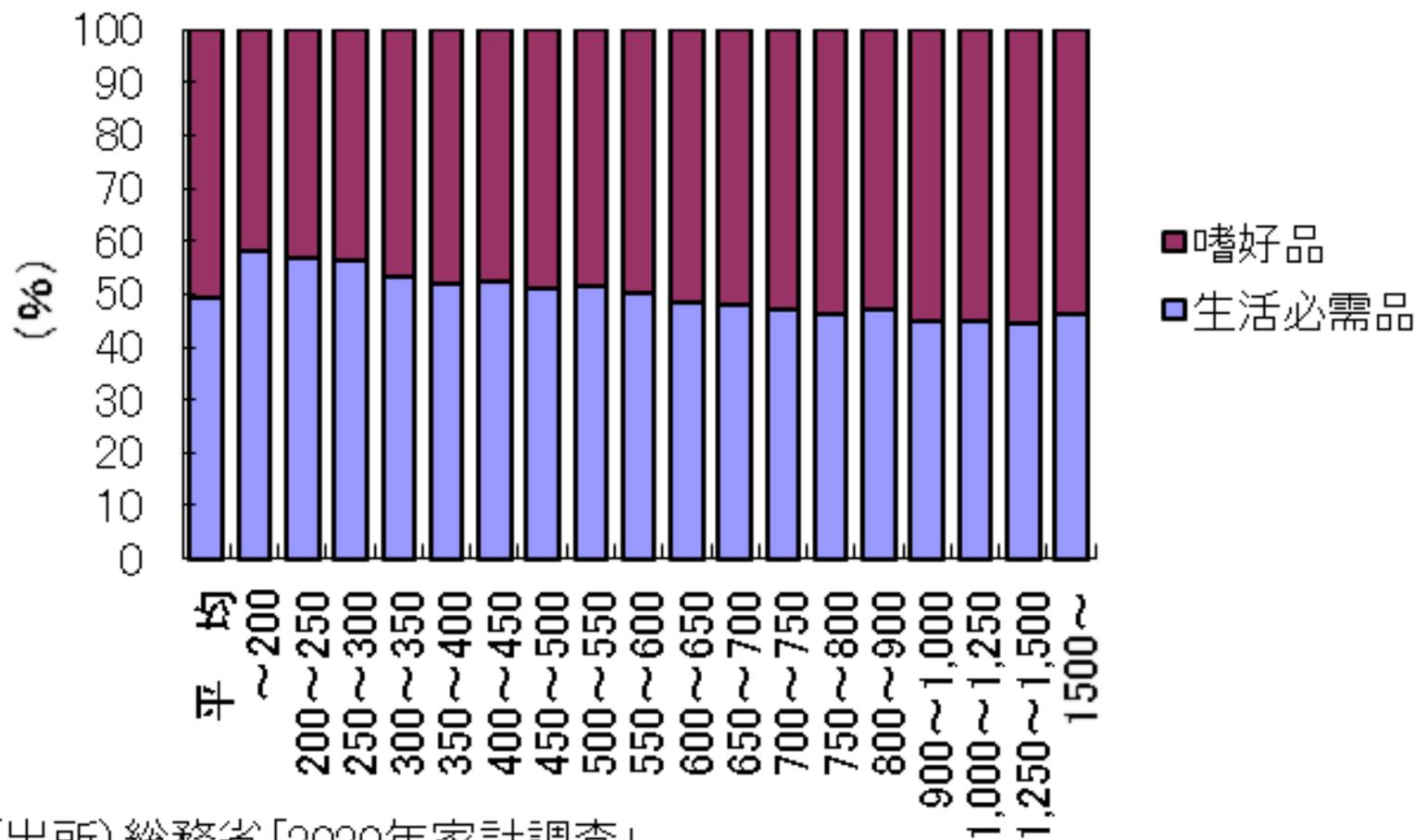
(2) 「生活必需品価格上昇」の実態



(出所) 総務省より第一生命経済研究所作成

3. スクリューフレージョンの脅威 「スクリューフレージョン」とは？

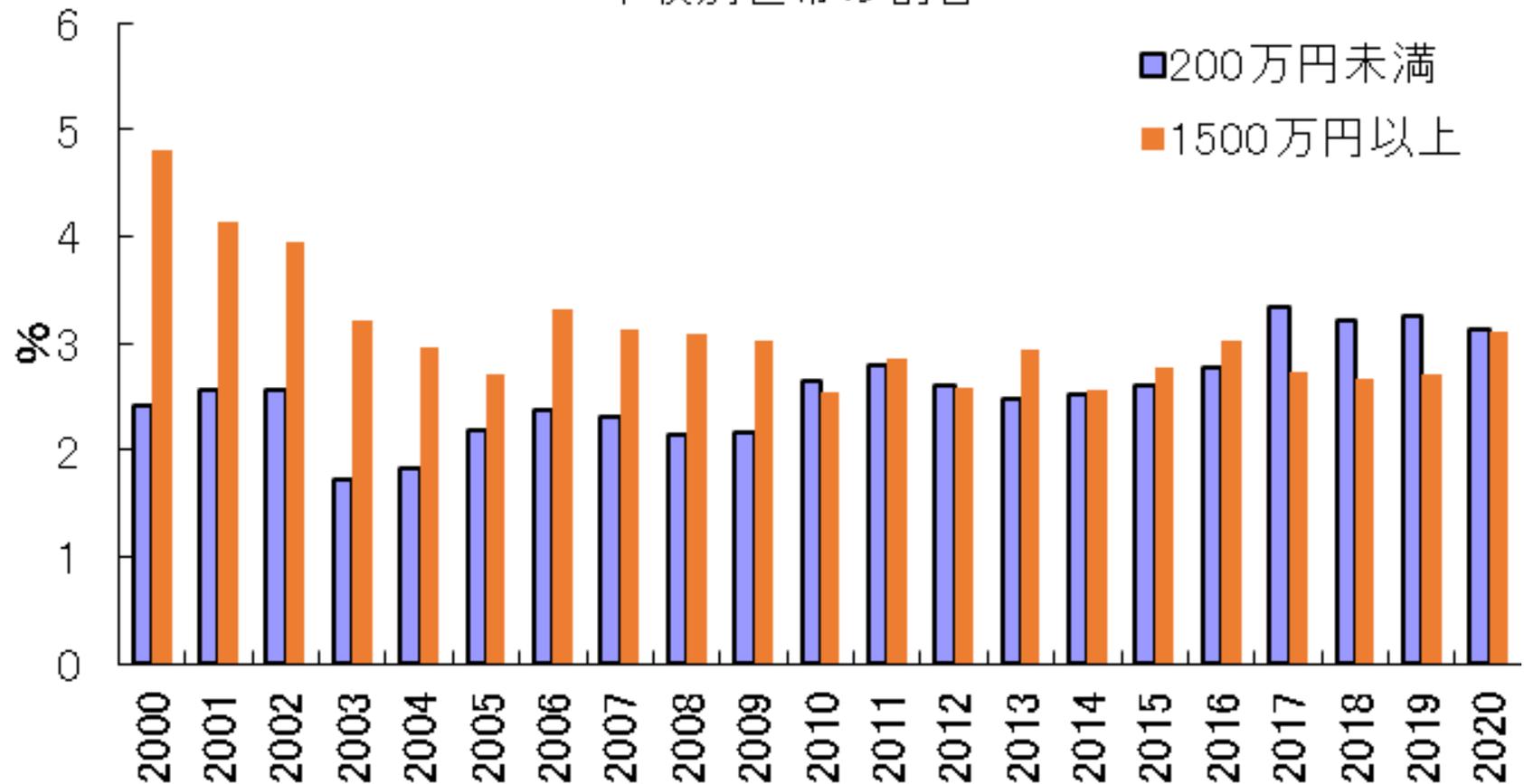
年収で異なる消費支出の構成比



(出所) 総務省「2020年家計調査」

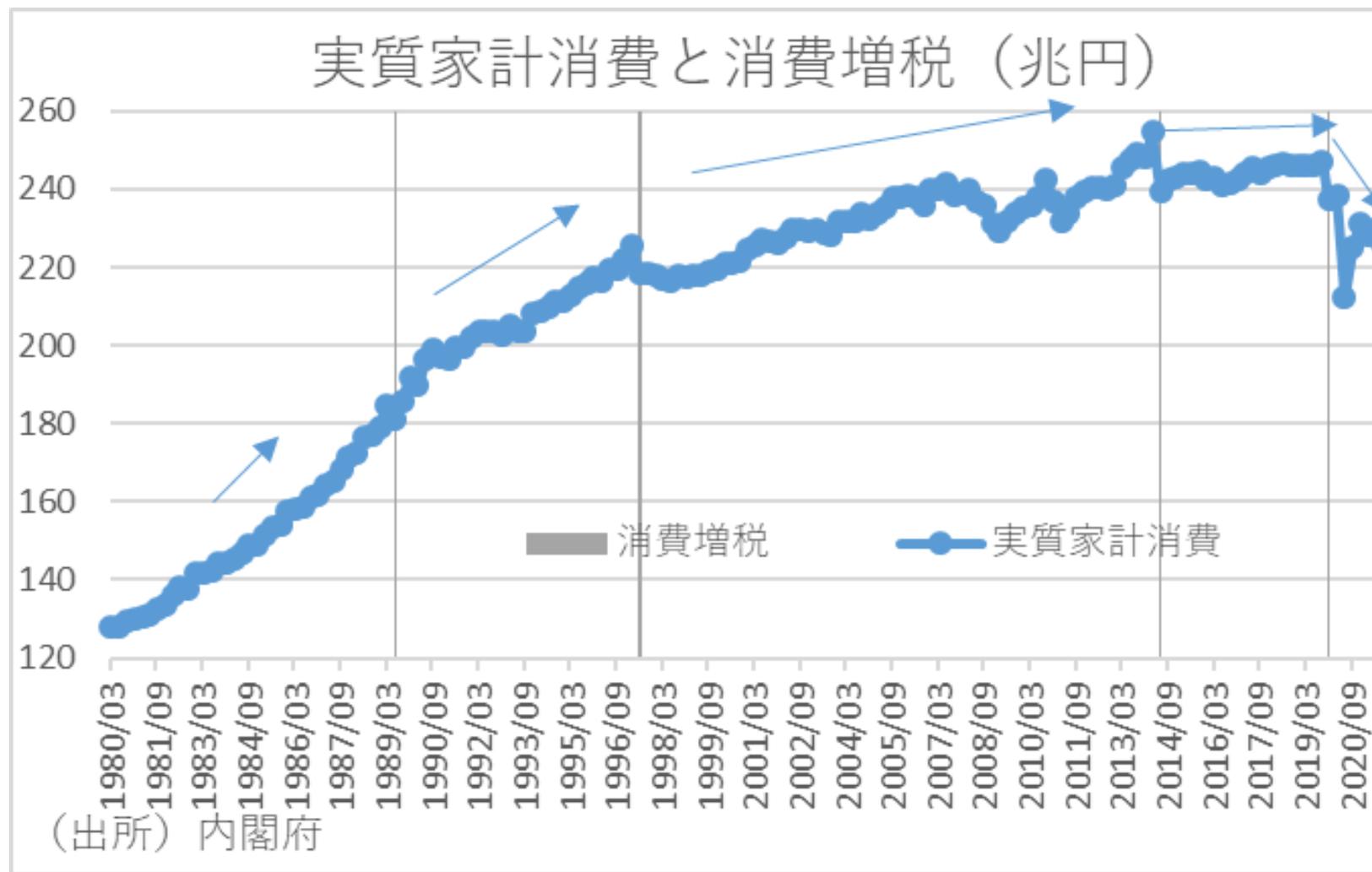
「中産階級の貧困化」の実態

年収別世帯の割合

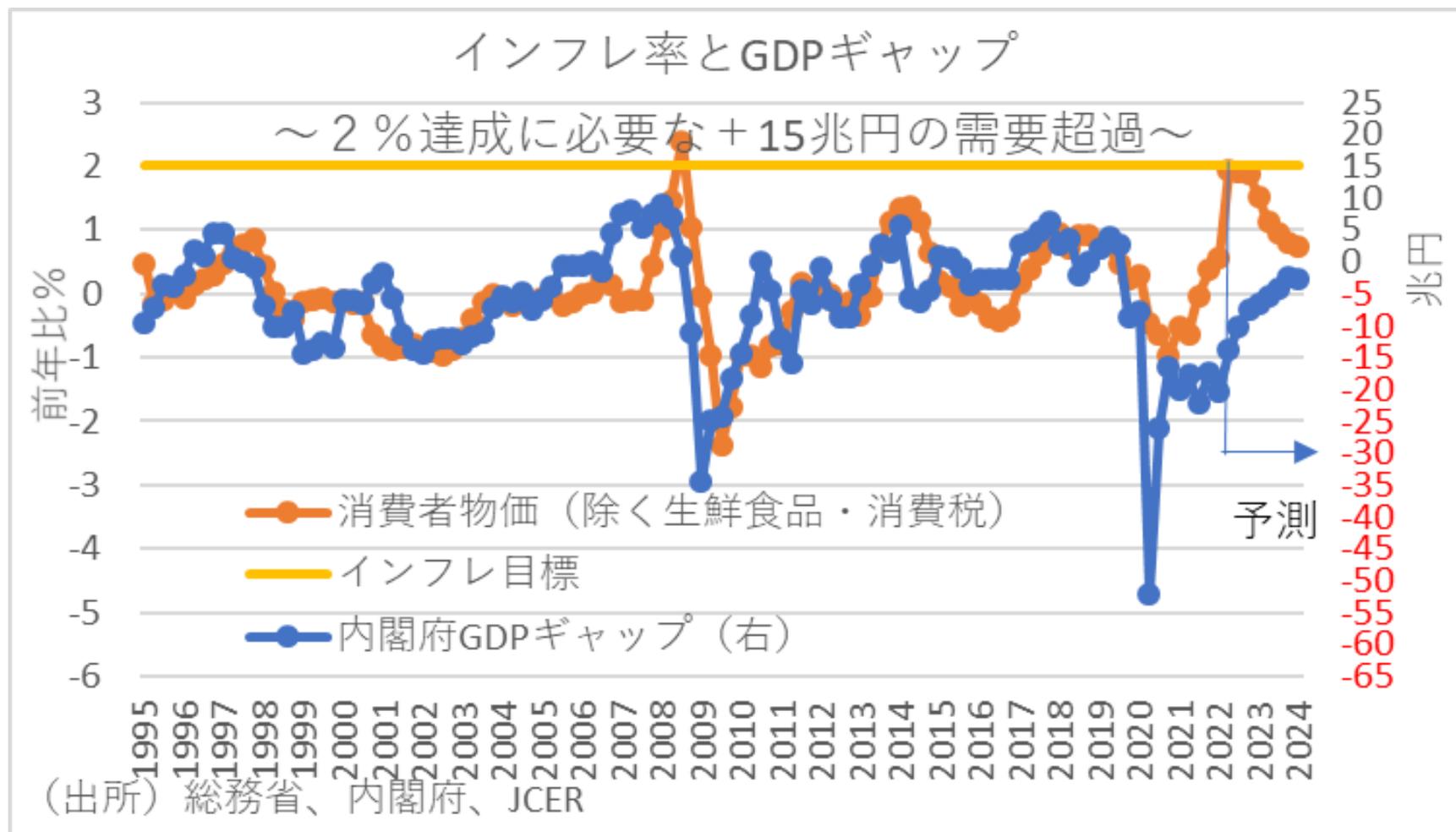


(出所) 総務省「家計調査」

4. 実質家計消費の推移 ～下方屈折する消費のトレンド～



5. 下り坂日本に必要な需要喚起の規模 ~21年度末で▲35兆円、23年度末でも▲18兆円~



日銀が期待する期待インフレ上昇

